

東芝深谷 OB会 会報

[第4号]

OB会事務局
0485(74)2014

OB会活動の報告

副会長 菅沼 英世

前号までは毎回渋谷会長が投稿されておりましたが、今回私が担当することになりました。

そこで昨年度のOB会活動の状況と、発展の様子を次のとおり報告いたします。

一、昨年の総会と工場の夏祭り参加で思う事は、今回は工場の食堂をお借りしての総会でしたが、皆様のご協力により混乱なく終える事ができました。

また、総会の議案資料も事前に発送し検討して頂いたため議事進行がスムーズでした。

夏祭りの参加も、ガラクタ市は将棋同好会、ビンゴはゴルフ同好会の会員が担当して大いに盛り上り大成功でした。

総会や祭り参加につきご意見をお寄せ下さい。

一、会報や東芝ライフ等資料の郵便料節約のため「手渡し配布」を開始しました。

配布地域毎に担当を決め、その担当者の協力で、深谷地区が十

二区分、熊谷岡部各一区分計十四地区分を手渡し配布するようになり、昨年十一月の実績は百三十一通でした。

これは送料節約だけでなくフェースとフェースによる親しみを倍加すると思います。

今後共にご協力をお願い致します。

一、民謡同好会が昨年十二月に世話人の明石昭二さんを中心に十三名で新しく発足しました。

これで同好会も十二となり各同好会の活動もより活発となっています。

まだ同好会に参加されていない方は是非参加されるようお待ちします。

一、会員も本年一月で四百三十名となりました。

そして会員の方々が、第二第三の人生の舟出を機に、自由時間の拡大による充実した日々を過ごし、そして同好会や地域のボランティアに参加し色々な人との新たな絆を発見する等、新しい出会いがあると思います。

そしてその絆をいつまでも、いつまでも大切にし、OB会の発展を祈っていきたく思います。

先輩皆様方の

温かいご支援を

深谷市議会議員 高橋 靖男

暦の上では春とはいえ、まだまだ寒さが厳しい時期ですが、お変わりなくお過ごしのことと存じます。いつも変らぬご支援、ご協力をいただき心から感謝申し上げます。

四年前、皆様の温かいご支援により議員になり、早いもので、本年四月は改選期であります。

振り返ってみますと、あつという間に過ぎてしまったように思います。

しかし懸案であった市内循環バスも前任の吉田さんから受け継ぎ、私の代で実現を見ましたし、遊具を備えた公園も設置することも出来ました。

夢中で過ごした感じがしますが、貴重な体験も出来、充実した四年間であったとも思っています。

深谷市は全国六七〇市の中でも財政面から見るとトップクラスであり、健全財政を堅持しています。この健全財政を維持しながら、いかに市民の要望に応えて行くかでありますが、それは私共議員が皆

さんの声をよく聞き、主権在民ということを常に念頭におき議員活動するにかかっています。

一期目は夢中で過ごしたと記述しましたが、二期目は落着いて皆さんの期待に応えなくてはならないと考えています。

そして希望と活気あふれる街づくりを目ざして微力ではありますが一生懸命頑張ります。

今回の市議選は、昨年六月議会議員定数を二名減らし定員二十六名としたことと、多くの新人候補が出馬することが予想され、従来以上の激戦になると思われますので、尚一層のご支援をよろしくお願い致します。

結びに皆様方の御健勝を心からご祈念申し上げご挨拶と致します。



この頃気になること

『ポイ捨て』

小澤 政行

駅周辺や、人通りの多い道路には実に様々なゴミが散乱している。一番多い物は、タバコの吸い殻と空箱などでこれが全体の約八十%を占める、次に目につくのが飲み物の空缶、空ビンなど、その他チリ紙、ガムの包装紙、電車の乗車券などなのです。



この中でちょっと気になるのは電車の乗車券です。

本来乗車券が無ければ改札を通過できないはずなのに、駅周辺

に捨ててある券のほとんどは、東京近郊の駅から一駅程度のもが多い、さては『キセル』と思う他はない。

一般のゴミは持ち帰りが原則です、家庭や職場ではちゃんと捨てる所を決めているはずですが。

愛煙家は携帯用の灰皿などを持ち歩いたらいいが、車窓からも含め『ポイ捨て』は止めましょう。

特に子供の前では気をつけたいものです。その子は大人が行なっている行為が悪い事と知らずに育ってしまうことでしょう。

囲碁で子供の英才教育

囲碁同好会 青柳進

◎ 仕事の関係で四〇歳半ばから六十六歳まで通算すると十年近くを韓国企業人の各階層と寝食を共にし自然に韓国文化・風俗・習慣を吸収をしていた。

この間の何よりの財産は大勢の弟子が出来今でも親しく交流している事である。最近増えているのは政府先導の大企業間のビックバンに伴う悲喜こもごもの人事相談である。

◎ この隣国韓国は子供の教育に

は事の外熱心である。学歴が日本より遥かに生涯の名誉と貧富を左右するからだ。親は子の大学入試から卒業までに惜しみ無く全財産を注ぎ込む。田地や債券を売っても足りないければ家族は豪華マンションから格安のアパートに事なげに移り住み、試験と合格発表日は親達も行動が過激になる。

◎ 親達は幼児期からあの手この手で教育をする。都市部には日本と同じようなピアノ教育を始め色々な塾や教室繁盛し、子供達は放課後複数の塾通いに多忙である。或時社員に“人気塾”を尋ねたら「囲碁教室」だった事に驚いた。その後注意して観察すると通常日の午後と休日は終日「囲碁で英才教育」と派手に広告された小形送迎車が町中を走り回りTVの囲碁対局も人気番組だった。

◎ 私は元来勝負事は嫌いである。ところが年金年齢になり気が付いたら囲碁同好会員の世話になっていた。「惚防止と時間潰し」の為である。しかし上達はしない。だが遊びでも目標を持ち少しは考えたら勝率も楽しさも増えるかなと思うこの頃である。

将棋同好会で

人生をエンジョイ

渡辺 忠亮

将棋を指し始めてから、二十年近くになる。腕前のほうは一向に上達しない。

何とか将棋大会で良い成績を上げようと、将棋の勝ち方と題する本などを読んで、努力をしてみたものの、対戦の相手方も、それなりに研究を重ねてきているので、なかなか思い通りの将棋ができず、悔しい負け方をしたことも度々あった。

しかし、長い間、将棋を指していると、多くの人と巡り合うことになる。

通いなれた道場はもちろんのこと、将棋大会での対戦者、旅行先での全く見ず知らずの人たちとの対局など将棋の効用として、多くの棋友を知ることができ何物にも代え難い貴重な財産の蓄積になっていることを感じる。

定年退職後、はや三年が過ぎた現在将棋OB会に入会し、月例会では、将棋もさることながら同僚先輩の安否、安泰はどうか、会社、工場の状況などの情報を得

る機会になっている。

私も老年に近い年代になってきた。気持ちの上では、元気であつても、健康の問題を避けて通るわけにはいかない。

将棋を趣味としていることで、健康的に日々を過ごしていることは、第一に退屈しないことである。

また、思考力の衰えを防ぐ格好のものであり、ストレス解消にも役立っている。

私にとって、将棋はまさに健康の活力源である。



写真同好会に入会して

浜田 実利

私がカメラを始めて手にしたのは高校に入学した時であった。親に買ってもらったものである。

それ以来趣味で今日までにパチリパチリと撮って来たが今だに上達していないようだ。

フィルム二、三本を使っても一枚も気に入る写真がない時がしばしばである。

でもここ数年娘達が孫の写真や年賀状に使ってくれるようになったのでいくらか上達したのかな。

今回写真同好会に入会させて戴き十月十六日、十七日と、裏磐梯紅葉撮影に参加させてもらった。

あいにく両日共雨で最悪であつた、でも雨の中それぞれ意図とする物にレンズを向けて、パチリ、パチリと左右からシャッターの音が聞こえていたが、皆満足した顔ではなかった。

宿での夜の宴会は、昼間の不満をぶつ飛ばすかのように盛りあがった、飲んで歌って私自身入会先を間違えたかと錯覚した程歌もうまい人がワンサという写真同好会であつた。

私の宝物

田中 清隆

西沢溪谷も紅葉にはちよつと早かった、雨の中私も何とか撮った中に一枚はまあまあ気に入った写真がありましたのでその一枚を紹介します。

沢の岩と山もみじのコントラストがよいかな？

写真に興味のある方一緒に楽しんでみませんか、待っています。

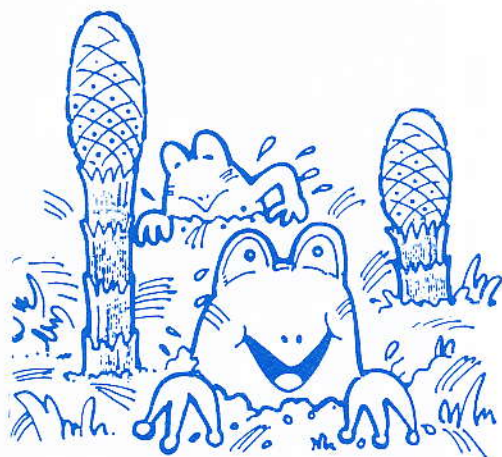
今年一九九九年はどの様な年に成るのかゴロ合わせを見て見た。九六年は(苦労の年)九七年は(苦難の年)九八年は(悔やむ年)こうしてみると九十年代はゴロが悪い、ところが今年のお年玉郵便切手の当たり番号は七四、七七、九七と六文字中四文字が七(ラッキーセブン)で縁起が良い数字が並び先行きが楽しみだ。年齢ならば白寿であり、必ず良い年に成るとプラス思考とし、九九年のゴロ合わせはやめたほうがよさそうだ。今年のお年玉郵便切手シートは五枚当たった。これで一九五九年(昭和三十四年)以来四十年間のお年玉郵便切手シートの収集が出来た。



最近では財団法人日本郵趣協会編集発行のSAKURA Catalog of Japanese Stamps及び月刊雑誌、郵

趣、スタンプマガジンを愛読し日本切手の歴史を知れば知るほど切手種集にはまり一九九八年発行分恒例切手、グリーティング切手、記念切手、シリーズ切手二十四種を収集出来た。

切手収集アルバムも七冊となり年々増えるにつれ、私の宝物だと小学六年の孫に見せ意思を求めたら「べつに」と言われた、自分には宝物でもあまり価値はなさそうだが何卒同志の方々の情報交換を励ましあいたく、いかがでしょうか。



民謡同好会発足にあたり

日本民謡梅若流名取師範

明石 梅秀 (こと昭二)

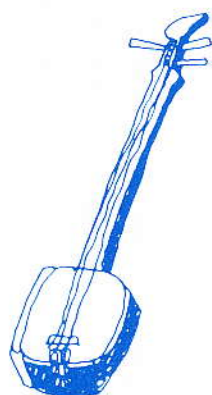
この度OB会の中に民謡同好会が、会長初め幹事の方々やカラオケ同好会の皆さんのお力添えにより十三名で発足出来ました事を民謡愛好者の一人として心から嬉しく思い感謝の気持ちで一杯です。

民謡は心のかさと言います。日本の伝統文化民謡を一人でも多くの愛好者仲間の参加をお待ちしています。

民謡は一声二節廻しにうつとりさせられる唄が多いのですが、声や節にこだわらずとにかくお腹から思いつき声を出して唄う事で、ストレス解消と老化防止になります。

ナマの三味線で皆さん唄ってみませんか、会員が初心者でスタートしたばかりです。

お気軽に参加して下さい。



優勝できました

登坂 貞雄

平成十年十一月十日東芝OB会第十二回ゴルフコンペが藤岡ゴルフクラブで開催された。

天気は快晴スコアは終って見なければ判らないが第一打がナントセンターへ一直線イン41アウト50、ハンデー23、ラッキーもあり五回目の出場で優勝の快挙を達成できました。

使用クラブはウッドアイアン共にマルマンギネスで平成九年九月に新調しました。練習は近くのダイエーゴルフクラブで週一回の予定ゴルフ歴は十四年で五十才近くになって自己流で始めたので良い時も悪い時もあり百を越えないよう目標としています。真つ直ぐ遠くに飛んだ快感が忘れられずゴルフ場には、チョコチョコ通っています。

次回は前半後半のスコア差を少なくして、ラウンド終了後スコアカードから会心の微笑が浮かぶように練習に頑張っています。

同好会幹事毎回ご苦労の事と思いますが、開催時に昔の仲間に出会えるのを楽しみにしている私です。

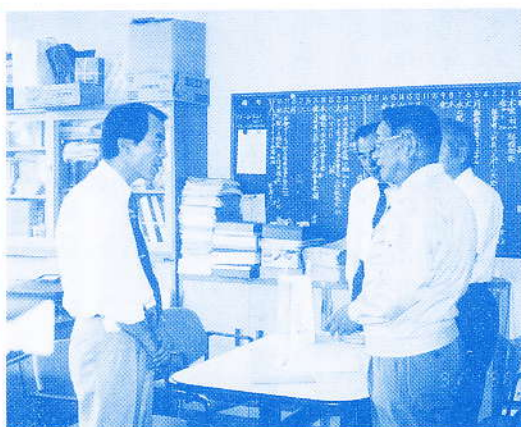
ボランティア活動の成果

昨年七月十八日夏祭りでOB会の皆様からガラクタ市に参加していただき、その売上の一部を福祉協議会へ寄付させていただきました。ありがとうございました。今後共よろしくお願い申し上げます。

※現金 三万九千四百四十四円

※テレカ 三百九十四枚

※切手 多数



国井育夫 平成十年十一月

村田一良 十年十一月

古嶋憲一 十年十二月

青木繁治 十一年一月

慎んでお悔やみ申し上げます。